

秋田自動車道  
R7秋田管内塩分量調査

参 考 図

令和7年10月

東日本高速道路株式会社 東北支社

秋 田 管 理 事 務 所

## 目 次

位 置 図	.....	1
黒沢橋全体一般図(1)	.....	2
黒沢橋全体一般図(2)	.....	3
黒沢川橋全体一般図(1)	.....	4
黒沢川橋全体一般図(2)	.....	5
河辺2函渠全体一般図	.....	6
河辺11函渠全体一般図	.....	7
五城目1函渠全体一般図	.....	8

## 位置図

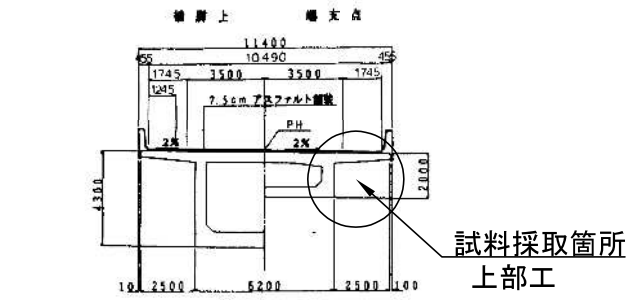
施行区間 (湯田IC～琴丘森岳IC)



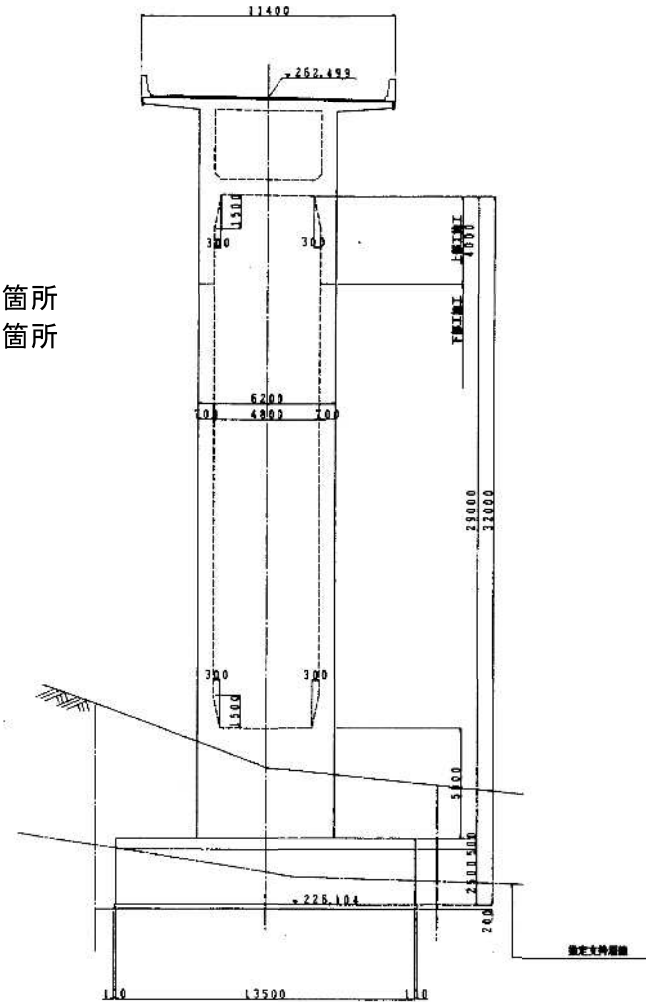
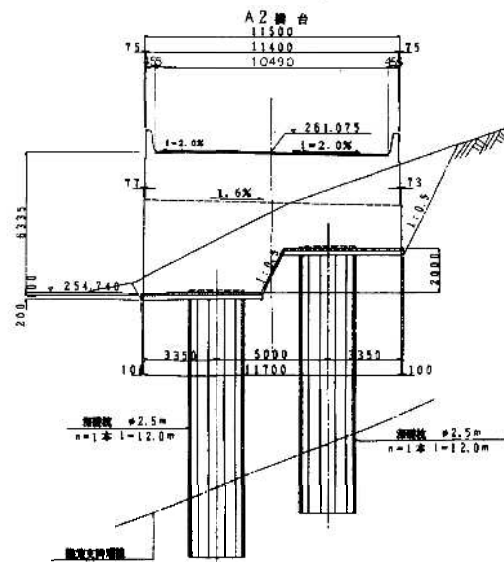
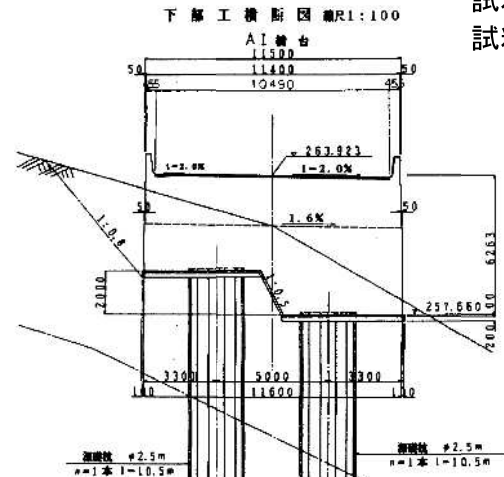
秋田自動車道 R7秋田管内塩分量調査	
図面の種類	位置図
縮尺	— 図面番号 /
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 秋田管理事務所



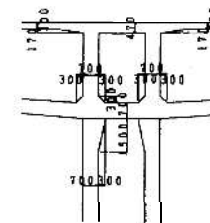




上部工  
試料採取 A 2箇所  
試料採取 B 2箇所

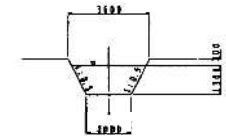


柱頭部詳細図 縮尺 1:100



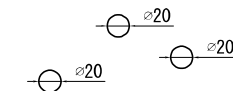
設計条件	
橋長	104.000 桁長 103.900
道路区分	1 第 3 種 B
車線	TL-20, TT-43
橋式	PC 2 径間連続橋 (トラメン)
支間	51.400 + 51.400
有効幅員	10.000
傾角	40°
横断勾配	2%
縦断勾配	2.738%
設計速度	KH=0.85×0.8×1.0×1.25×0.70=0.17
上コンクリート	$\sigma_{ck} = 400 \text{ kg/cm}^2$
下コンクリート	$\sigma_{ck} = 1800 \text{ kg/cm}^2$
鋼材	S50D
使用材料	S50D
上コンクリート	$\sigma_{ck} = 240 \text{ kg/cm}^2$
下コンクリート	$\sigma_{ck} = 1800 \text{ kg/cm}^2$
橋脚形式	A1 橋台 (断面径 2.5m), P1 橋脚 (連続橋脚)
測量方法	測量指示方法・河川図 (平成 2 年 2 月)

現況河川断面図 縮尺 1:100

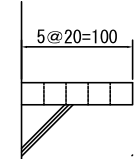


試料採取詳細図

平面図 (1箇所あたり 3孔)



断面図 (1孔あたり)

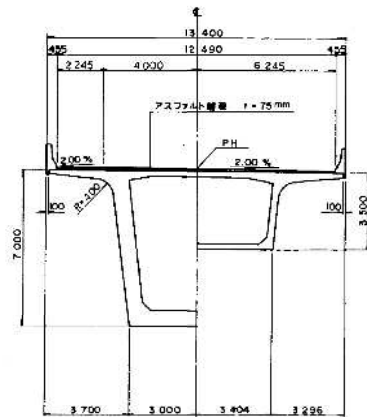


秋田自動車道 R 7 秋田管内塩分量調査	
図面の種類	黒沢橋全体一般図 (2)
縮尺	—— 図面番号 /
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 秋田管理事務所



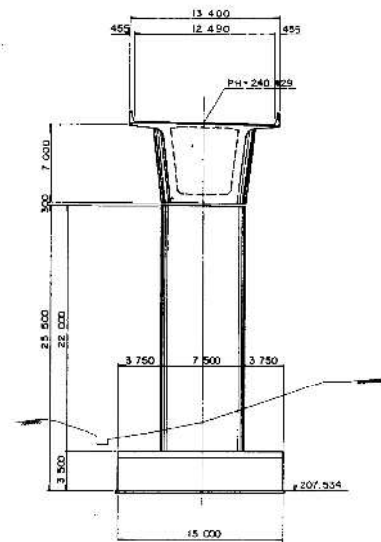
標準横断面図 縮尺 1:100

管径（上り線）

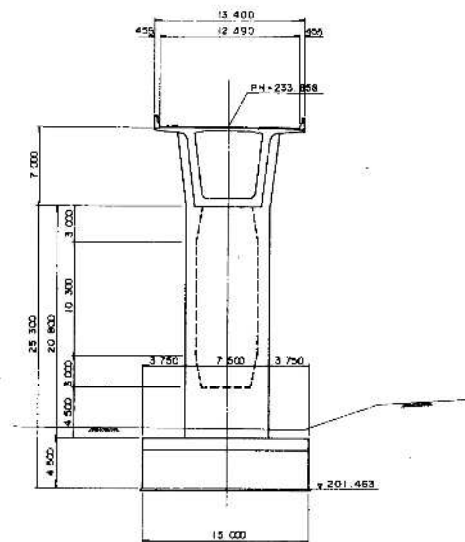


横断面図 縮尺 1:200

P1 橋脚



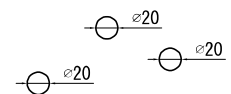
P3 橋脚



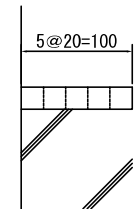
設計条件	
橋長	199.000 桁数 398 +600
道路幅員	第1種3B
間隔	TL=20, TL=43
支間	78.500+120.000+120.000+78.600
形式	PC4径路連続床面新コンクリート橋
有効幅員	12.490 斜角 90°00'00"
横断勾配	2.000%
縦断勾配	2.750%
設計速度	0.17
上コンクリート	6ch-240,300,400 <sup>90</sup> cm
鉄筋	SD-345
下コンクリート	6ch-240,300 <sup>90</sup> cm
鉄筋	SD-345
基礎形式	橋台-深礎杭、橋脚-直接基礎
適用示方書	道路橋示方書(平成24年2月)

試料採取詳細図

平面図（1箇所あたり3孔）



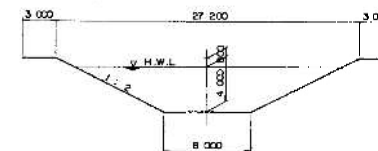
断面図（1孔あたり）



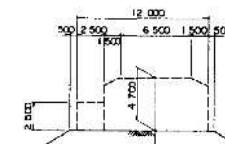
交差条件

計画河川横断面図 縮尺 1:200

（黒沢川）Q=270 m<sup>3</sup>/sec



国道107号線 縮尺 1:200



JR北上線 縮尺 1:200

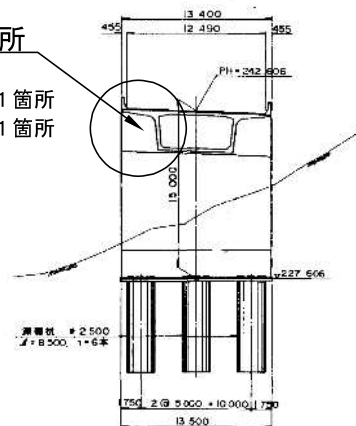


試料採取箇所

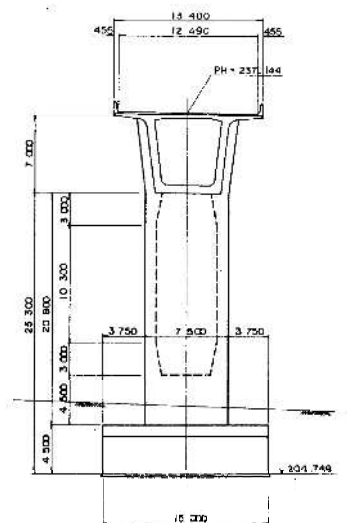
上部工

試料採取A 1箇所

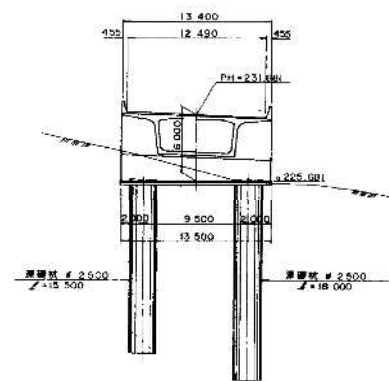
試料採取B 1箇所



P2 橋脚

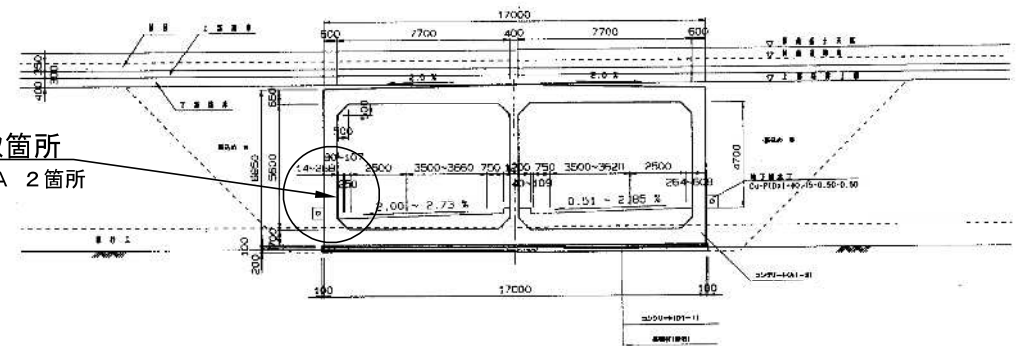


A2 橋台



秋田自動車道	
R7秋田管内塩分量調査	
図面の種類	黒沢川橋全体一般図（2）
縮尺	— 図面番号 /
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 秋田管理事務所

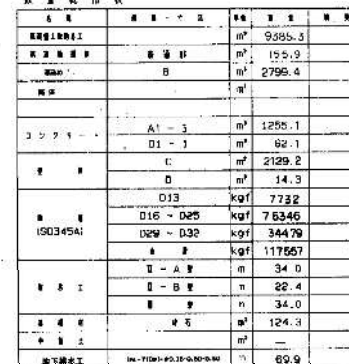
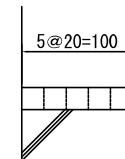
標準断面図 S-1/100



儀 式 · 踏 天 構 成



設計条件	
コンクリート	
圧縮強度	24 N/mm <sup>2</sup>
引張強度	80 kgf/cm <sup>2</sup>
引張弾性係数	3.9 kgf/cm <sup>2</sup>
引張変形係数	16 kgf/cm <sup>2</sup>
引張破壊変形率	25 mm
鉄筋 (SD345)	
引張強度	3500 kgf/cm <sup>2</sup>
引張弾性係数	1800 kgf/cm <sup>2</sup>



秋田自動車道 R7 秋田管内塩分量調査			
図面の種類	五城目1箇所全体一般図		
縮尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 秋田管理事務所		

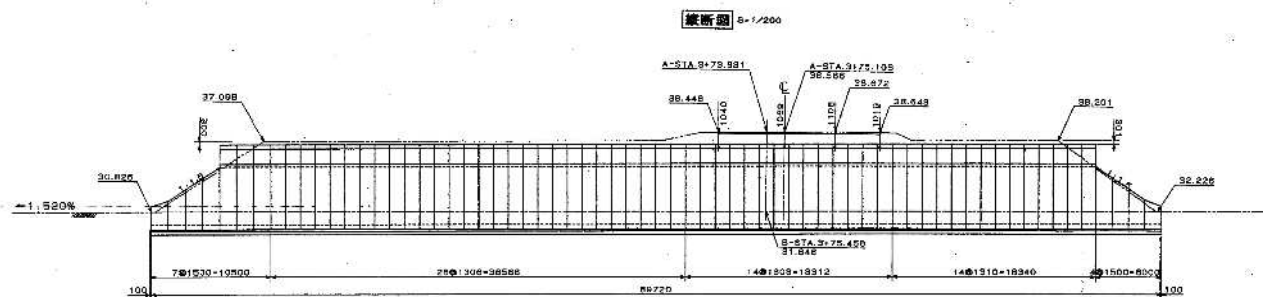
## 7 / 8

秋田自動車道 R7 秋田管内塩分量調査			
図面の種類	河辺2面渠全体一般図		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 秋田営業事務所		



内径φ 6	10.475 mm
内径φ H	8.626 mm
土質φ D	1.030 mm
距離測定	土圧 土質の深さ 方向 1-23.511 mm
距離測定	特殊土圧測定 $x=1.020$ 土質土圧測定 $x=0.500$
平均距離測定	土質 19.8 km 距離コンクリート 26.6 km
距離測定	土質 50.8 km
地下水位測定	土質 1.030 mm
地下水位測定	土質 1.030 mm

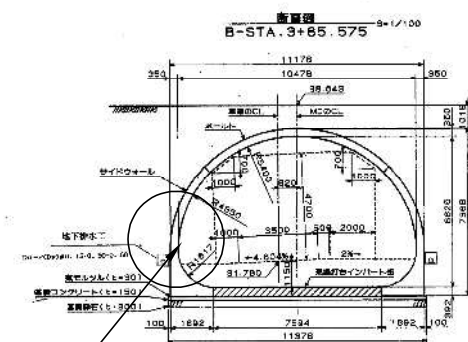
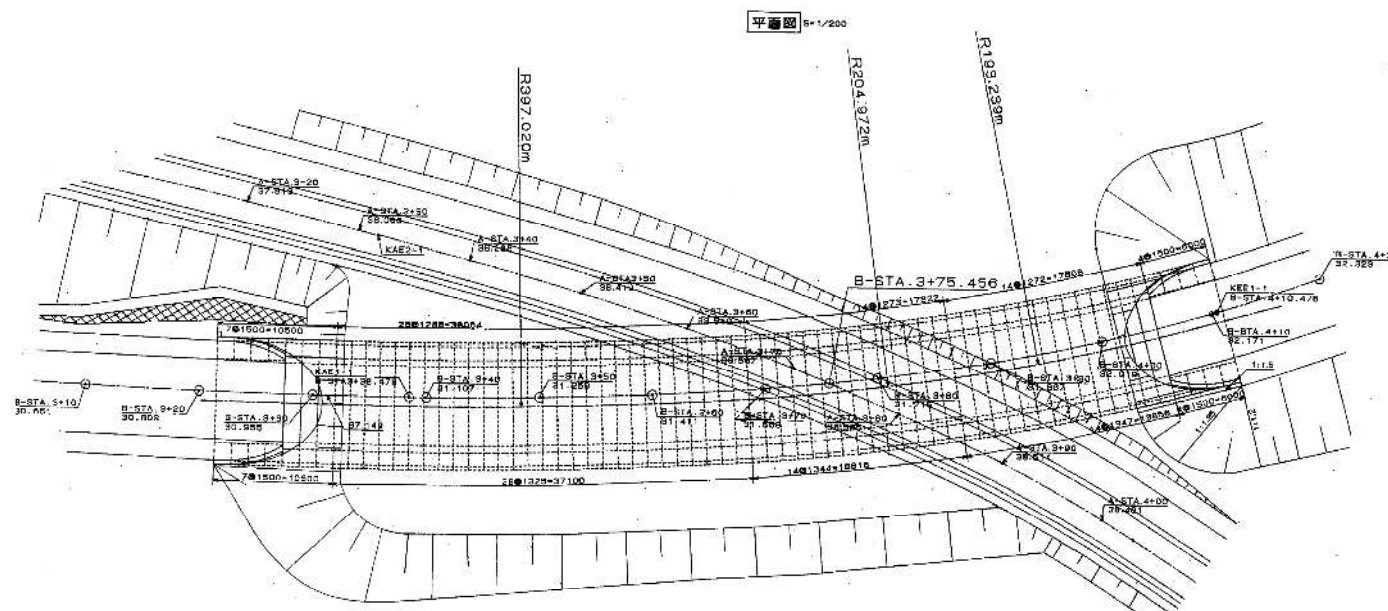
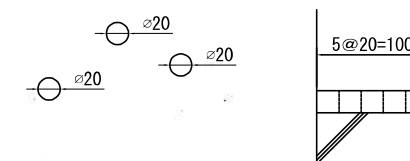
水在速・ターニングインクリート値	
設計基準時速	40 KM/時
新設設計二面速度	12 KM/時
新設設計九面速度	3.25 KM/時
気圧(50345)	
時速速度の差	350 KM/時
新設設計の力	100 KM/時



項 目	規格・寸法	単位	数量	備 考
骨格製鋼脚	鋼管部	㎡	14,055.2	
鋼込の材	鋼込めA	㎡	6,364.0	
アクリル樹脂	2トング	㎡	89.9	
工事地中	Excavate 0.21 x 0.21	m	10.0	

平面図（1箇所あたり3孔）

断面図（1孔あたり）



試料採取 A 2箇所

秋田自動車道 R7 秋田管内塩分量調査			
図面の種類	河辺11箇薬全体一般図		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 秋田管理事務所		